

4月28日

権力をめぐる大衆行動を貫徹



徹する労共委 共産主 権闘

戦闘的経済主義を克服し、権力を巡る闘いの強化を!

【沖縄返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

「沖縄返還」の政治性格はいかなるものか

四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

「返還協定」の内実とは何か

【返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

「沖縄返還協定」の階級的性質

【返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

日本帝国主義ブルジョアジの軍隊の強化

【返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

日帝打倒、沖縄米軍政打倒、世界ソビエト共和国樹立

【返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

日大細島君に懲役十ヶ月執行猶予二年の判決

【返還協定】四月二十八日、日比谷野外音楽堂において、二十三日の労働者・学生の特集をもつて、四・二八沖縄返還協定締結一周年記念大会が、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。この日の集会は、戦闘的経済主義の克服、その運動を革命的に闘争化する必要を、あがき、労働者共産主義者、各共産主義者、労働者、学生、市民の参加で、熱気にあふれて行われた。

CF 首都圏共戦 合同機関紙

創刊号 近日発売 50円

【内容】■情勢と任務／東大CF
■三里塚入管沖繩／千葉大CF
■自治会運動論／東水大CF

THE PROLETARIAN CORRESPONDENCE No1

☆タイプ印刷 英語版
☆一部百円(30セント)
☆発行 怒濤社・C編集委員会
☆編集委員

☆内容
創刊の経緯、兵隊の労働者の団結と前進のために、労共委中央委、沖縄をめぐっての階級闘争



第34号
本誌2頁
定価20円

発行所
怒濤社
東京都千代田区
千代田1-14-1
電話 0312-45-8639

プロレタリア世界革命の旗の下
万国の労働者団結せよ!
労働者共産主義委員会

トロツキズムと現代革命

土井学

第一章 トロツキズムの問題点

(1) 永続革命

「永続革命」は、トロツキズムの中心的な理論である。これは、社会主義革命は、先進国から遅延国へと連続的に進んでいくべきであるという主張である。トロツキズムは、社会主義革命は、先進国から遅延国へと連続的に進んでいくべきであるという主張である。トロツキズムは、社会主義革命は、先進国から遅延国へと連続的に進んでいくべきであるという主張である。

(2) 労働者国家擁護の原則について

トロツキズムは、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。トロツキズムは、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

共産主義革命

労共要理論閣閣誌 創刊号発売中!

「共産主義革命」は、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

第二章 「第四インターナショナル」

(1) プロバガンダ集団「解党主義」としての成立

「第四インターナショナル」は、プロバガンダ集団として成立した。これは、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

(2) 自然成長的党とインターナショナル

「第四インターナショナル」は、自然成長的党として成立した。これは、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

(3) コミンテルンを越えろのか

「第四インターナショナル」は、コミンテルンを越えろのかという主張をしている。これは、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

経済主義の克服と先進的学生の任務

上 高谷 光一

「経済主義の克服と先進的学生の任務」は、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

「経済主義の克服と先進的学生の任務」は、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。

「経済主義の克服と先進的学生の任務」は、労働者国家の擁護を原則としている。これは、労働者国家は、社会主義革命の過程で形成されるべきであるという主張である。